



山口さま

●おとうさん
直孝さま
●おかあさん
愛香さま
●赤ちゃん
廉(れん)くん
平成27年6月17日生
3,176g 男の子



はじめまして

2人目の妊娠・出産でしたが、本当に楽しく毎日を過ごすことが出来ました。検診では日々大きくなる赤ちゃんの成長や、助産師さんのお話が毎回楽しみでした。出産も、助産師さんや学生さん、主人など、多くのスタッフの皆様が親身になり支えて下さり本当に心強く、産まれた瞬間、感謝の気持ちでいっぱいでした。お陰で温かい幸せなお産が出来ました。産後の入院生活も、どのスタッフの皆様も毎日笑顔でサポートして下さい、不安や産後の疲れも吹っ飛びました。本当にありがとうございました。息子にもこの、人の温かさ、感謝の気持ち、命の大切さを伝えていきたいと思いました。

私の好きな風景

のと里山海道方面の空に積乱雲(入道雲)が、もくもくと湧きあがっていく様子を見ていると本格的な夏の到来を感じる。積乱雲の形状は、刻々と変化していき、その形の面白さに魅かれて目が離せない。

撮影：出版メディア業務課 中谷 渉



お答えします！医科大Q&A

Q 膝関節の調子が悪くなりありません。日常生活での予防法などありますか？ (60代女性)

A 膝の痛みの原因は関節の変形や靱帯・半月板の損傷によるものだけでなく、運動不足による肥満、膝周りの筋力低下や柔軟性の低下など様々です。対処法も原因によって異なります。一般的な加齢・日常生活での使いすぎによる膝の痛みであれば、膝周りの筋力をつける体操をする、体重コントロール、重い物を持ち上げることを避ける、正座を避ける、等の対処法があります。特にプールでの運動は浮力によって膝にかかる負担が減り、水の抵抗による適度な運動負荷が筋力強化に効果的でありお勧めです。

原因が分からなければ適切な対処が出来ないので、まずは整形外科の受診をお勧めします。(リハビリテーションセンター)

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への“説明と同意”を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

当院は、医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 人間としての尊厳や人権が尊重され、安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病状や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べることができます。
- 十分な説明と、情報提供を受けたうえで、ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 治療のどの段階においてもセカンドオピニオン(他の医療機関の医師の意見)を求めることができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さんへのお願い

当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話ください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

医科大どおり

2015年 季刊誌 第21巻 第2号 発行／金沢医科大学病院

編集／金沢医科大学病院ニュース編集委員会

いつでも 誰でも 安心してがかれる病院

金沢医科大学病院だより

あなたに贈る健康へのメッセージ ― 知ってください病院のこと、身体のこと

医科大どおり

2015
第21巻
第2号

CONTENTS

- 手術支援ロボット・ダビンチ
- 病棟紹介(新館8階西病棟)
- 医療チーム紹介-緩和ケアチーム-
- リハビリニュース
- 研修医紹介

- お知らせ
- はじめまして
- 私の好きな風景
- 医科大Q&A



内灘マリーナから見た金沢医科大学病院

病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します

- 患者さん中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。

手術支援ロボット・ダビンチ

当院では、ダビンチ サージカルシステムの最新モデル「da Vinci Xi サージカルシステム」を5月29日（金）国内で最初に導入しました。

ダビンチの特徴

ダビンチは手術支援ロボットであり、

- ① 3D カメラで体内を立体的に映し出し、ズーム機能により、患部を拡大視野でとらえることができる。
- ② 人間の手よりも可動域がある手術鉗子で精密な操作が行うことができる。
- ③ 手先の震えが手術鉗子の先に伝わらないように補正できる。

等の特徴があります。

患者さんのメリット

最新機種であるダビンチ Xi システムではさらにレーザーを使用したり、ロボットアームを細く長くしたりすることで、より一層正確かつ安全な手術が可能となるよう改良されており、患者さんのメリットとしては、

- ① 手術中の出血量が少ない。
- ② 手術後の疼痛が軽減できる。
- ③ 合併症リスクの大幅な回避ができる。
- ④ 入院期間が短縮できる。

等が挙げられます。



手術支援ロボット・ダビンチ

ダビンチの現状と今後

2009年11月に国内での使用が国から承認され、2012年4月には前立腺がんに対する手術に健康保険が適用されました。その結果、2014年秋には前立腺がん手術の50%以上がダビンチを使用して行われるようになり、その比率は上昇し続けています。

まず、当院では、健康保険適用がある前立腺がんに使用しますが、一般・消化器外科、心臓外科、産科婦人科、そして頭頸部・甲状腺外科などの疾患に対しての使用も予定しており、患者さんにとってより負担の少ない手術を目指します。

（記：泌尿器科 教授 宮澤克人）

病棟紹介（新館 8 階西病棟）

新館 8 階西病棟は、一般・消化器外科および乳腺・内分泌外科 37 床、歯科口腔科 5 床、耳鼻咽喉科 3 床、共用ベッド 3 床の計 48 床の病棟です。



病棟スタッフ

各担当科の主な疾患

一般・消化器外科、乳腺・内分泌外科：乳腺・大腸・胃・胆嚢・胆管・脾臓・食道等の疾患が多い。
耳鼻咽喉科：副鼻腔疾患
歯科口腔科：顎関節症・顎下腺腫瘍・下顎前突症

特徴

検査・手術・化学療法・放射線療法の治療で入院される患者さんやご家族の要望を確認させていただきながら、主治医を中心に多職種のスタッフと連携・協働し、退院に向けて取り組んでいます。

看護師 29 名と看護補助員 4 名で、いつも明るく笑顔を絶やさないように日々頑張っています。

認定看護師の紹介

新館 8 階西病棟で活躍している 2 名の認定看護師：感染管理認定看護師 1 名・がん放射線療法看護認定看護師 1 名が、専門性を生かし患者さんやご家族に、よりよい看護ケアを提供しています。



手洗いの指導風景

上野 佳子
感染管理認定看護師

点滴管理や処置が多い病棟のため、特に感染対策の基本である手指衛生では正しい手順と正しいタイミングについて確認し、スタッフに定期的な指導をしています。『感染していいのは笑顔だけ』を合言葉に、予期せぬ感染で治療が滞ることがないように、スタッフ全員で感染管理に力を入れています。



カンファレンス風景

端 真希
がん放射線療法看護認定看護師

放射線治療を受ける患者さんは年々増加しています。患者さん、ご家族が放射線治療とはどういうものを理解し治療を受けて頂き、副作用がひどくならず治療を終えられるようサポートしています。そして、スタッフ全員の知識・技術が向上できるように、指導にも取り組んでいます。

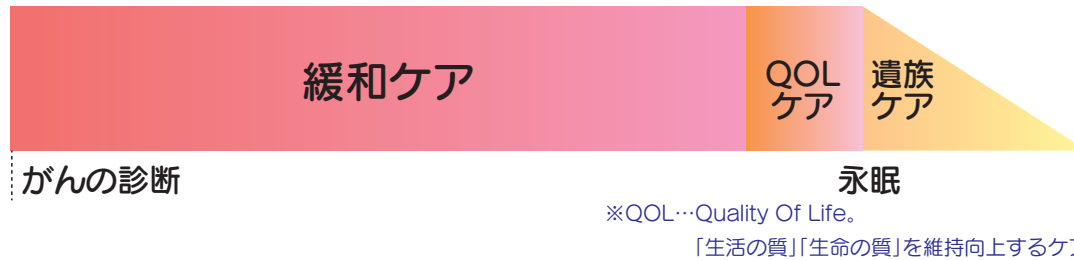
（記：新館 8 階西病棟 師長 浜江紀美代）

医療チーム紹介ー緩和ケアチームー

緩和ケアとは、どんなこと？

がん患者さんは、がん自体の症状のほかに、痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状や、気分の落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を経験します。「緩和ケア」について考えるタイミングは、「早すぎる」ことも「遅すぎる」こともあります。「緩和ケア」は、がんと診断されたときから、治療と一緒に受けることで、患者さんが可能な限り快適に過ごし、自分らしく過ごすためのケアです。また、患者さんだけではなく、家族が患者さんをどう支えていったらよいか悩んだり、経済的、療養場所の問題も出てくるかもしれません。患者さんご家族の、からだところを支えることが、緩和ケアチームの担う大きな役割です。

がんを対象とした治療



緩和ケアチームは、どんな事をしているの？

緩和ケアチームは、がん診療に携わる医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカー、歯科衛生士、臨床心理士など多職種で構成されています。患者さんそれぞれの症状にあった適切な治療やケアを行うために、病棟回診や外来診察を行っています。緩和ケアチームスタッフは、患者さんの身体症状や、患者さんご家族の悩みや不安について、主治医と受け持ち看護師とともに相談しながら、患者さんが納得できる治療や療養の方法を選択するために、支援をしていきたいと思っています。「こんなことは相談しても仕方がない」と、一人で抱え込まずに、緩和ケアチームを利用したいとお考えの場合、どんなことでも遠慮せずに、主治医や病棟看護師にお伝えください。



緩和ケアチーム

(記：緩和ケアチーム 看護師 道淵路子)

リハビリニュース

がんのリハビリテーションについて

高齢化社会にある現代社会において、運動の重要性や“リハビリ”という言葉は認識されてきていると思いますが、“がんのリハビリテーション(がんリハ)”という言葉聞いたことがあるという人はまだまだ多くないかもしれません。今回のリハビリニュースではがんリハについて紹介したいと思います。

がんの治療は、発生した部位に応じて手術療法、化学療法、放射線療法などの治療が用いられます。それぞれの治療において副作用や合併症、治療期間が長期化するなどで体力の低下が生じることがあります。そこで2010年よりがんリハが開始となりました。

骨折や脳卒中などのリハビリは怪我や病気を発症してから行いますが、がんリハはがんと診断された時点からリハビリを行うことができます。早期発見された時点では体力の低下がなくても治療によって体力低下を生じることがあるため、治療前からリハビリを行うことが重要となります。



また、がんの治療中では副作用などが出現している状態で運動をすることにもなるため、身体の状態を把握することが重要となります。そのためリハビリスタッフは医師や看護師、薬剤師、管理栄養士などと情報交換をしながらリハビリを行います。そして在宅生活を見据えてソーシャルワーカーとも相談をしながらリハビリを行っていきます。

がん治療では身体的や精神的に困難が伴うことがありますが、当院スタッフはできるだけ患者さんのサポートをしていきたいと考えております。お気軽にご相談ください。



(記：医療技術部 リハビリテーションセンター 作業療法士 山本真一郎)

研修医紹介

このページでは、当院で勤務する研修医を紹介します。
皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、
今後とも宜しくお願い致します。



2年次初期臨床研修医
中村 秀平 (なかむら しゅうへい)
山形県出身

【医師を志したきっかけ】

文字通りの「きっかけ」という点では、一番最初に医学の道へ進もうとしたのは、実家が診療所であり、両親が共に医療従事者であったことが大きな比重を占めていると思います。大学に入ってから、将来どのような

ビジョンを持って医療にとりくめば良いかわからない日々が続いていました。しかし、医学部5、6年次の臨床実習や研修医になってからの実臨床を通し、現在では医療の一旦を担うものとしての責任感を持ち、より患者さんのためになる医療を提供できればと思っています。

【臨床研修中に印象に残ったエピソード】

ある科を研修中に、入院中の患者さんで、「〇〇先生(上級医の先生)は本当に良くしてくれてありがたい。感謝しています。」と話してくれた方がいました。人間の本当の評価というもの、その人自身がその場にいない時にされているものだと思います。私も患者さんに、そう言ってもらえるような良医を目指したいと思った瞬間でした。

2年次初期臨床研修医
沖野 里奈 (おきの りな)
新潟県出身



【医師を志したきっかけ】

小さい頃は父の背中をみて、医師になりたいと言っていました。次第に薬剤師を漠然と目指すようになっていました。そんな高校2年生の時に、母や親戚が立て続けに手術や入院することがあり、その時に初めて患者の家族として医師に求めることや思うことがありました。その際にやはり私も医師になり人の役に立ちたい、自分が医師ならこうしたいと思った事がきっかけで医師を志しました。

【臨床研修中に印象に残ったエピソード】

ある内科で研修させていただいていた時に、いつも家族の前でも心配させまいと笑顔で、私達医療者に対しても弱音を吐かない患者さんがいました。入院が長引き辛い時期もその様に振る舞っている姿が私は心配でした。1日に何度も通ううちに色んな不安や葛藤を話してくれる様になりました。その時思った事は、患者さんは色々なタイプの人がいるけれども、どの人に対しても真摯に話を聞こうとする事は大事で、信頼関係を築く事が結果的に治療にも繋がるという事です。今後も一方的な医療ではなく、気持ちにも寄り添える医師になりたいと思います。

お知らせ

平成27年度 健康管理講座のお知らせ

当院では一般の方を対象に毎年「健康管理講座」を開講しております。この講座では、皆様の生涯学習機会の拡大として、当院の特色ある医療体制や健康管理について知ってもらい、健康への意識を高めて頂くことを目的に開講します。どなたでも参加できますので、お申込みをお待ちしております。

石川県民大学校教養講座教養学習コース

対 象	どなたでも参加できます。(※途中からの受講も可能です。)
会 場	金沢医科大学病院 医学教育棟6階会議室
申し込み	金沢医科大学病院 病院管理課 〒920-0293河北郡内灘町大学1-1
電話番号	076-286-3511 (内線5063～5064、5067～5069)
メールアドレス	kanrika@kanazawa-med.ac.jp
受 講 料	無料です。ただし、教材費として500円を負担していただきます。

月	日	曜	時間	演題	講師
9	5		13:30～15:30	血液の病気－貧血と血液型の話	血液・リウマチ膠原病科 教授 正木康史
	19		13:30～15:30	知って得する制度・施設の選び方	地域医療連携事務課医療福祉課長 ソーシャルワーカー 瀧本淳子
10	10	土	13:30～15:30	健診結果と身体を結びつけてみましょう！！ ※健康診断結果等ご持参ください	健康管理センター 保健師 高瀬悦子、宇納由樹、柴田優子
	17		13:30～15:30	がん予防の心得	集学的がん治療センター 教授 安本和生
			15:30～16:00	閉講式	

イベントのお知らせ(9月～10月)

うちなだ・タベのひとときコンサート 水曜日17:00～(場所:新館1階ロビー)		
日程	内容	演者
9月30日(水)	琴・尺八琴・尺八箏コンサート	中橋 雅竜ほか
10月21日(水)	琴とピアノコンサート	吉村正通ほか
ふれあいタイム 土曜日14:00～(場所:新館1階ロビー)		
9月12日(土)	歌	鈴木美智子ほか
10月10日(土)	合唱	松任中学校合唱部

※敬称略

